

A. 得点競技規則

1. 的について

- (1) 的は半径 3,6,9cm の同心円で得点は的の中心から 7,5,3 点とする
- (2) 的の高さはその中心点が 160cm とする。(c f: ダーツは 173cm)
- (3) 的はスポンジマットに的紙を貼るのが一般的ですがスポンジマットにワイヤリング的をテープまたはピンで固定する方法もある。
- (4) 紙的の場合円の線の上に当たった矢の得点は高得点の方にする。(03.09.28 改正)
- (5) 紙的の場合得点の判断が困難で不正確になることがあるから、公式競技にはワイヤリング的をスポンジマットに固定して行う。(040929)

2. 筒について

- (6) 筒の長さは 120cm 以下で内径、材質と重さは自由。筒に錘その他の付属品をつけることもできる。一般的に用いられているものは内径が 13mm である。
外国人が大会参加のために来日した場合は 48 インチ (121.92cm) の長さの筒を使用できる。(080416)

3. 矢について

- (7) 矢の長さ重さ形状は自由ですが先端は槍型になっていること。先端が平らまたはブロードヘッドの矢はワイヤリング的のワイヤに当たりやすいから公式競技には使用できない。一般的に用いられている矢はフィルムを円錐状に巻いた矢で先端がとがった金属で長さ 21cm、重さ 0.8gr である。(02.8.29) (06.10.23)

4. 競技開始前の規則

- (8) 的から 10m 離れたところにシューテングラインを引く。(女子 8m を削除 99.7.31)
- (9) 試合の会場では禁煙とする。
- (10) 1人1ラウンド5射を6ラウンド行う(計30本)。
- (11) 1ラウンドの制限時間は3分間とし制限時間内に終わらない場合、得点は制限時間内の得点になる。
1試合の時間はマーカの確認時間を含めて25分以内とする。

5. 競技開始後の規則

- (12) 矢が的まで達しない場合、選手は各自のシューテングラインから筒先で矢を手繰り寄せて回収できる場合はその矢を再度発射できる。回収不能の矢は0点とされる。
- (13) 1ラウンドに6本吹いてしまった場合は、最高得点の矢を1本減点する。
(98.12.15 追加)
- (14) 矢が的から跳ね返った場合はもう一度吹くことができる。(01.11.23 改正)
- (15) 2本の矢を重ねた状態で吹いてしまった時は、これを1本の矢として扱う。
(01.5.17)
- (16) 得点の合計が同点になった場合、高得点の矢が多い方を上位とする。
- (17) 同点の場合、3本を吹いて勝敗を決める。(02.7.8 追加)

6. その他

- (18) 車椅子に腰掛けて吹く場合の的の中心点の高さは 125cm とする。(06.03.28)

(19) その他に問題が生じた場合には、主催者、役員、選手などが話し合っ解決する。

B. 国際吹矢道協会 IFA 段位認定基準 (2006.8.25 更新)

級位	段位	カラー	得点
3 級			60--74
2 級			75--89
1 級			90--104
初段			105--119
2 段	アイロン		120--149
3 段	ブロンズ		150--161
4 段	シルバー		162--174
5 段	ゴールド		175--185
6 段	チタン		186--193
7 段	プラチナ		194--201
8 段	ダイヤモンド		202--209
9 段			210

(5) ゴールド賞 (IFA 5 段) は 175 点以上の得点を得た者にとに授与する。(01.11.27)

(7) 初心者のレベルは上記の通り 3 級、2 級、1 級、初段(105 ~ 119)とする。(050701)

(8) 6 段.7 段.8 段 9 段 (185--,194--,202--,210)を国際基準に基づき追加した。

ASBA では 6.7.8 段はマスター 1.2.3 で 9 段はパーフェクト 210 またはウルチメートゴールと言っている。名人位 ((6) ゴールドを 1 年間に 3 回取得した人) を削除した。(060825)

*上記のルールは日本スポーツ吹矢協会 JSFA、アメリカ ASBA、フランス FSBA、ドイツスポーツ吹矢協会 DSBV などのルールとほぼ同じです。(2006.8.17)

D. 遠矢競技規則 (080414 新国際ルールに改訂)

(1) 直径 18cm の円の中心が床から 160cm の高さになるようにセットする。(080414)

(2) 選手は 1 ラウンド 5 本の矢を吹く。(080414)

(3) 5 本のうち 3 本以上が的に当たった距離を遠矢距離と認定し、更に的から離れて吹くことができる。

(4) 用いる筒と矢の規則は得点競技に準ずる。

注：日本スポーツ吹き矢協会会長青柳清氏のルールは直径 24cm の的に 3 本中 1 本が当たればその距離が遠矢距離と認定されます。(060817)

E. ゴルフボール落としルール (マッチ落とし競技 2000.9.19) 削除 2017/04/25

1. 160cm の高さにスポンジゴルフボール 2 ケをスポンジ的板の左右に U 字ピンを刺して吊す。

2. 1 ラウンド 15 発吹いて射落としたボールの数を記録する。

3. 3ラウンド合計45発で射落としたボールの数で競技する。
4. 狙ったボールが落ちたら隣のボールを狙うことができる。
5. 矢がボールをかすってボールが落ちたら当たりとする。
6. 矢がボールに当たっていれば落ちなくとも当たりとする。
7. ボールが矢に囲まれた場合矢を取り除くことができる。
8. いつでもパイプクリーニングができる。
9. 1ラウンドは10分以内とする。
10. 射程距離は10m、8mなどとする。

F. 国際吹矢道協会フィールド競技規則

1. フィールド競技は1グループ4人で決められたコースを周りながら4スポットで競技を行う。
2. 射撃の順序は最初のスポットでA、Bが吹いたら次のスポットはB、Cが吹く。
3. スポットにおける的の設定はp. 102,103の図に示すような配列が望ましい。
4. 射程距離は9m,11m,13mの位置に的を設定した4ヶの的のスポットが3箇所、的1ヶを15mの位置に設定したスポットを1カ所、合計4スポット設ける。
5. 用いる筒と矢の規則は得点競技に準ずる。

フィールド競技規則は「スポーツ吹矢健康法」樋口裕乗、林督元著 ぶんぶん書房
平成7年11月発行 P.190 に記載されています。現在この本は発売されておりません。
「新スポーツ吹矢健康法」1999.1.20 発行 林督元著にはフィールド競技は掲載されて
おりません。